

週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

.....
堀口明子 ☎(752)0453 小林えみ子 ☎(482)5451

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

☎(483) 1151

ケアマネネットワークなど団体との懇談会が開かれる

総務、文教、福祉常任委員会は、8月18日～20日の間、市内の団体との懇談会を行いました。日本共産党が参加した「福祉常任委員会とケアマネネットワーク」の懇談会が10人の方の参加で20日に行われました。まず初めに、市内の介護保険を利用されている各家庭の状況について伺いました。「現在1人で2人を介護され、大変な状況を抱えている利用者さんに対してどのような対応、または考えをお持ちですか」とたずねました。1時間30分の懇談で以下のようなご意見を伺うことができました。

- 「ケースはさまざまだが、家族の負担を減らすための介護保険なのに、そうならないことがある」
- 「介護保険制度は万能でない」「利用する際に介護保険制度は必ず利用料が1割かかることを案内している。2人いれば2人分の利用料がかかるから、利用できない人もいる」など、介護保険制度には限界があり、当初から「保険あって介護なし」と指摘してきたが、その実態がうきぼりになりました。
- 8月1日からの障害者等支援タクシーによって、「八千代でもようやく始まったのでよかった」との意見もありました。福祉タクシー券のように介護保険制度では賄うことができない「横出し＝市独自の施策」をもっとつくってほしい。との意見も出ました。
- さらに、これからの国の動向が心配。市がどのように進めていくか心配。寸前での変更では対応に困る。との意見もありました。

日本共産党は議会でも質問しているが、市の担当課は「国の動向に注視していく。まだ、通達がない。」との答弁でまともな対応ができていません。現場の方々は国の方向性が変わるたびに「利用者さんへの説明、変更」の対応に追われていることが、言葉の端々に感じ取れました。

今回の懇談で、以前議会で「利用時間が60分から45分になることで、45分で終わらせることができないなどの現場の意見は無いのか」との質問に、担当課は「現場からの意見はない」と答えたが、懇談会の中では「実際にはボランティアを行っている」ことが明らかとなりました。



国は、要支援1・2を介護保険から排除する、特養の入所者を「要介護3以上」に限定、介護保険に2割負担を導入するなど、高齢者に過酷な負担を押しつけています。

日本共産党は、介護保険の改悪を許さず、もっと利用しやすい介護保険制度となるように努力いたします。